

感謝する気持ち

新庄北小学校

六年

田添たぞん

衣咲いさき

去年の春、初めて家族で伊勢神宮へお参りに行、て来ました。日本人の心のふるさととして有名な伊勢神宮に行けるのを、とても楽しみにしていました。

伊勢神宮は、内宮、外宮をはじめ、百二十五の宮社全てを含めて「神宮」と言うそうです。伊勢神宮では昔からの習わしである、外宮から内宮の順で参拝しました。

鳥居は、ここから先は神様の場所ですよ。という目印で、神社の玄関にあたります。お参りさせていたただきますよ。という気持ちを込めて鳥居をくぐる前には立ち止まって一礼をしました。お参りする前に、手水舎で手と口を清めました。内宮では手水舎ではなく五十鈴川お手洗場で手を洗い口をすすぎました。五十鈴川の流に手をひたしているとき、清らかな気持ちになりました。

伊勢神宮の参道を歩く時、外宮は左側通行、

内宮は右側通行になっていました。参道の真
人中は神様の通り道だと初めて知りました。
参道を歩いていて、広大な森林の澄んだ空
気がとてもすがすがしく感じられました。

日本にはおよそ八万社の神社があると言わ
れ、伊勢神宮はその中で一番格式が高い神社
だそうです。それはなぜかというところ、内宮に
おまつりしている神様が天照大み神さまとい
う日本の神々の頂点に立つ神様だからです。
この神様は皇室の祖先とも言われ、太陽にも
たとえられている偉大な神様なのです。

外宮は天照大み神さまのお食事のお世話を
し、衣食住や産業の守り神である豊受大み神
さまをおまつりしています。私達日本人の生
活を支えてくださっている神様です。

二礼二拍手一礼の順で神様にお参りす
る時、伊勢神宮では自分の願い事をするので
はなく、日頃の感謝の気持ち伝えるそう
です。私は今までどこの神社へお参りに行っ
ても自分のお願い事ばかり伝えていました。

「おかげさまで今日まで生きて来られました。どうもありがとうございます。と心の底から感謝の気持ちを神様に伝えました。毎日の当たり前という生活に感謝し、神々のおかげをいただいで生かされている事に感謝する事で、新しい気持ちで明日に向かって頑張っていく。と教えてくれる場所が伊勢神宮のように感じる事ができました。

伊勢神宮には私の好きなおみくじがありました。せんでした。おみくじがないかわりに「伊勢神宮に参拝に訪れた日は誰もか吉日」とされていきます。参拝するだけで、ありがたい幸運な事になるそうです。

「一生に一度はお参りしたい伊勢神宮」と言われるけど、私は「一年に一度はお参りしたい伊勢神宮」になりました。これから日々ある暮らしに感謝する気持ちをお忘れないうえこうと思います。